



東京多摩みなみワイズメンズクラブ

chartered on 2016.7.17

2021年
 4月号
 (第57号)

今月のことば

「無常」
 (安藤慎次選)

2020～2021年度 主題

クラブ会長 深尾香子「寄り添おう！青春。学ぼう！高齢化。」

東新部部長 加藤義孝(東京)「友情の絆を強め、YMCAを支えよう」

東日本区理事 板村哲也(東京武蔵野多摩)「変化を楽しもう！」

アジア太平洋地域会長 David Lua (シンガポール)「変化をもたらそう」

国際会長 Jacob Kristensen (デンマーク)「価値観、エクステンション、リーダーシップ」

《クラブ役員》会長 深尾香子 副会長 伊藤幾夫 直前会長 石田孝次

書記 小早川浩彦 副書記 田中博之 会計 綿引康司 担当主事 小野 実

(当クラブは、多摩市社会福祉協議会多摩ボランティア・市民活動支援センターの登録団体です)

今月の強調テーマ LT (Leadership Training: 会員のリーダーシップ開発、向上を目的に行う研修)
 RBM (Roll Back Malaria: ロールバックマラリア・マラリア撲滅キャンペーン)

4月例会プログラム

日時：4月6日(火) 19:00～20:30

会場：ZoomによるWEB開催

司会：小早川浩彦

- *開会および会長挨拶 深尾 香子会長
 - *今月のことば 安藤 慎次
 - *ゲスト/ビジター紹介 会長
 - *メンバースピーチ 深尾 香子
 - 「茶の湯教室では何を学べるのか？」
 - *チーム報告(農園、多摩社協、地域団体)
 - *YMCA ニュース・連絡等
 - *メンバー近況報告
 - *ハッピーバースデー/アニバーサリー
 - *閉会挨拶 会長
- (WEB開催のため構成を一部省略しています。)

4月のHappy Birthday / Happy Anniversary

《誕生日》安藤慎次(18日)

メネット：藤田恵美(8日)

小早川るみ子(15日)

《結婚記念日》伊藤幾夫・まゆみ(27日)

【巻頭言】「残りの人生は自分らしく」

私は約6年間、美術館の仕事をしてきました。数多くの作家たちとの交流で驚かされたのは、私たちとは全く違う彼らの「価値観」でした。作家たちにとって作品とは「自分自身を表現するもの」であり、他人の評価などどうでもよく、ましてや、売って金銭を得ることを目的としたものではないのです。

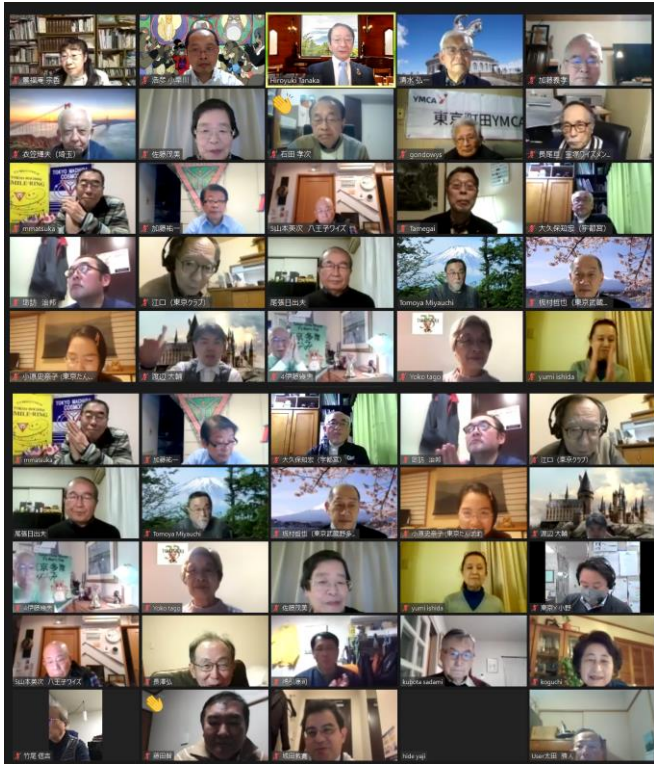


一方、私たちの生きてきた企業社会には評価制度があり、成果や上司の評価の好し悪しが、収入や将来の地位を左右します。ゆえに、お客様第一、企業の利益最優先の価値観が常に頭にあり、自己の個性は抑え、周囲への気配り(昨今では「忖度」という?)を意識して生きていたように思います。我慢の人生だったとも感じます。ただし今現在、前者と後者、どちらが尊いかは、私自身は判断できずにいるのも事実です。かつての日本社会であれば個性の強い人は変人扱いされました。しかし現在は様変わりし、個々の権利が尊重され、多様な生き方を認める社会が形成されつつあります。そんな「変り者」が認められる寛容さを私は好ましいと思います。できれば自分自身も企業に別れを告げたら、残りの人生、もう少し自己主張し趣味嗜好を楽しみたいと願っています。(綿引康司)

3月例会	在籍12名 (内広義会員1名) 例会出席48名	出席内訳	メンバー 9名		BF		ファンド	
			メンバー	メーキャップ	切手	使用済み切手、少しでもご持参ください	オークション	
			出席率 82%		375g(今年度累計 375g)		0円	
			メネット 0名		ぽんぽこファンド 12,800円		0円	
			ゲスト・ビジター 20名		(今年度累計12,800円)		0円	

3月合同例会報告

3月8日(月)19:00から、例会がZoomにて開催されました。今回は、当クラブと東京町田コスモスクラブ、東京町田スマイリングクラブの3クラブによる合同例会です。事前にご案内したこともあり、3クラブメンバー18名とゲスト、ビジター20名の総勢48名という大人数での開催となりました。



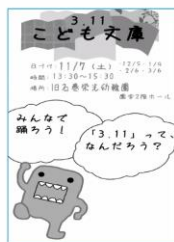
例会冒頭、久しぶりに開会点鐘が行われ、ワイズソングも流れました。司会の深尾会長によるゲスト・ビジター紹介後に行われたのは、各クラブの活動紹介です。3クラブの会長が、パワーポイントを使用して、それぞれのクラブの特色や活動内容を説明しました。ゲストスピーチは、石巻広域クラブの清水弘一さんによる「3.11 東日本大震災から10年、そしてこれから」。3.11を目前に控え、被害者家族の現状や、復興状況、石巻広域クラブによるメモリアルプロジェクトの紹介など、貴重なお話を伺うことができました。

9. メモリアルプロジェクトの紹介

① 魅力ある地場産品の市場開拓支援



② 3.11子ども文庫の開催



最後にビジターからの連絡やご感想をいただき、予定より15分オーバーの8時45分に終了。終了後には、有志の方たちによる、オンライン飲み会も行われました。
(小早川記)

《出席者》「東京多摩みなみメンバー」9名：安藤、石田、伊藤、小野、小早川、田中、深尾、藤田、綿引、「東京町田コスモス」3名：権藤、松香、谷治、「東京町田スマイリング」6名：太田、尾張、城田、諏訪、竹尾、為我井、「ビジター」19名：清水(石巻広域)、大久保(宇都宮)、衣笠(埼玉)、江口、加藤、長澤、佐藤(東京)、板村、宮内、渡辺(東京武蔵野多摩)、久保田、小口、花輪、山本(東京八王子)、小原(東京たんぼぼ)、鈴木(横浜つづき)、石田、多胡、長尾(宝塚)、「ゲスト」加藤祐一

3月第2例会(運用会議)報告

3月15日(月)19:00~20:50、Zoomにて3月第2例会が開催されました。3月合同例会の振り返り、会計報告、今後の例会の予定(4月：深尾会長のお茶のお話、5月：多摩社協の方のお話)、ぽんぽこ農園の現状および今後の予定など確認し、4月にスタートする第2回プランター栽培講座についての相談を行いました。詳細は、それぞれの記事をご覧ください。なお、クラブで自由に使える有料Zoomアカウントを確保しましたので、ご活用ください。

(田中記)

《出席者》6名：石田、伊藤、小野、田中、深尾、綿引

今月のスピーカー

深尾香子
東京多摩みなみクラブ会長



《要旨》
これから先も、暫くは対面での例会が難しいと思われる中で、例会におけるクラブメンバーによる卓話は、今まで以上に親睦を図る意味で大切になると思います。4月は私、深尾が本業の「お茶」の世界から、『茶の湯教室では何を学べるのか?』をお話します。オンライン開催ですので、実食は出来ませんが、皆さんから、日頃疑問に思っていたけれど訊けなかったことを解決出来たらと考えています。「お茶碗は何回、回すんですか?」とか「わびさびって何ですか?」とか。ご遠慮なくご質問をお寄せ下さい。事前にメールやSNS等で頂ければ、いろんな準備が出来るかもしれません。よろしくお祈りします。

東京クラブ例会ゲストスピーチ報告

3月9日(火)、東京クラブ3月例会メネットナイトにて、卓話の機会を頂きました。ワイズやYMCA関係者を対象に行っている「茶の湯de卓話」は、今回で第12回目を迎えます。コロナ禍ではありますが、去る9月18日の横浜つづきクラブに続く、今年度2回目の有難いお声掛けでした。今回の卓話で取り上げた話題は『コロナ禍で、子ども

達に伝えるべきこと』です。この1年で大きく変わったと言われる私たちの暮らしですが、清潔第一、ディスタンス、黙食（※）などは、実は400年以上続く“新しくない生活様式”なのです。

「熱湯消毒をしますから、アツアツのお湯をたっぷりご用意下さい。」と始まり、大きく間を取った機の配置、実践用の茶碗は各自がお気に入りの器を《見立て》て持ち寄り、ハイブリッド開催用の機材の配置を聞いて……幾度となく打ち合せて臨みました。参加者を募る段で、不自由な学習環境にあるにほんご学院の学生にも声掛けが出来、応募者多数の中、厳選なる抽選を勝ち抜いた幸運な10名がやって来ました。おかげ様で、レクチャー時こそ静かでしたが、実践になると、茶道具を前にしてワイズメンバーによる即興の通訳と多国籍言語が飛び交いました。全てのプログラムが終わり、片付けていると、学生たちが興味を示して集まって来ました。声を掛けると、皆どンドン手伝ってくれました。来れなかった友達のことを話す人も居たので、「彼らのために、次回を開催しましょう。」と学生や職員の皆さんと話してから、帰路につきました。「茶の湯 de 卓話」の第1回目は、にほんご学院時代の小野さんの相談から始まっています。ご縁を感じて、次も出掛けようと思いました。

※もう少し深い意味を持つ目食＝モクジキという言葉もあります。(深尾記)

次期クラブ会長・部役員研修会報告

3/6 (土) 13:30～17:00、リモート会議で開催されました。例年ですと、日本YMCA 同盟国際青少年センター東山荘(御殿場)での1泊2日研修ですが、コロナの緊急事態宣言中のため、Zoomでの研修となりました。出席者はZoomでの参加が76名、YouTubeでの参加が10名でした。次期区役員は、下表のとおりです。研修では、次期理事大久保さんの理事主題「私たちは次の世代のために何ができるか？」が発表され、活動方針が示されました。引き続き、次期の各事業主任、各部長から活動方針が示されました。いよいよ次期の準備が本格化しました。当クラブからは、深尾さんが次期地域奉仕・YMCA サービス事業主任として活躍の場が与えられました。応援しましょう。

研修会には、当クラブからは深尾さんの他、石田さんが次期東新部会計として、田中さんが次期クラブ書記として、伊藤さんが次期クラブ会長として、参加しました。(伊藤記)

<2021～2022 東日本区役員 (敬称略) >

役職	氏名	所属クラブ
理事	大久保知宏	宇都宮
次期理事	佐藤重良	甲府 21
直前理事	板村哲也	東京武蔵野多摩
書記	衣笠輝夫	埼玉
会計	鈴木伊知郎	宇都宮東

地域奉仕・Yサ事業主任	深尾香子	東京多摩みなみ
会員増強事業主任	大川貴久	熱海
国際・交流事業主任	山田公平	宇都宮
ユース事業主任	三田庸平	もりおか
北海道部部长	中村義春	十勝
北東部部长	南澤一右	仙台青葉城
関東東部部长	大澤和子	所沢
東新部部长	松香光夫	東京町田コスモス
あずさ部部长	長谷川あや子	東京八王子
湘南・沖繩部部长	若木一美	横浜とつか
富士山部部长	小原進一	熱海

<研修会グループディスカッション参加報告>

研修会の最後に、区内7部に分かれて、研修参加者によるグループディスカッションが行われました。東新部からは、東京(江口)、東京むかで(城井)、東京町田コスモス(松香)、東京町田スマイリング(城田、太田)、東京多摩みなみ(深尾、伊藤、石田)の8名が参加しました。進行役は、主催のLT委員会のメンバーである私、石田が務めました。冒頭の松香次期部長の方針を踏まえ、コロナ禍で例会が思うように実施できていない状況下で、どのような取組みをし、どのような問題が起きているか活発な意見が交わされました。短い時間の中でしたが、非常に有意義な議論の場になりました。主な論点は、以下のとおりです。

- ① コロナにより、例会活動が停止状態を余儀なくされたが、東京クラブのZoom活用の先駆的取組みが火付け役となり、部内他クラブへ広がり、思わぬ展開になっていった。3密を意識することなく、在宅のままコミュニケーションができ、オンライン例会につながり、リモートからの参加やハイブリッド化など高度利用に結び付いた。
- ② 最初は、おっかなびっくりで始まったが、回を重ねるごとにコロナ禍でのクラブのコミュニケーション手段として着実に定着して行った。
- ③ しかし、その一方で、Zoomに参加する人と参加しない人に二分され、新たなコミュニケーションギャップ問題を抱えている。討議参加者の共通認識として最大の問題は、Zoomを使えないことによる参加機会の喪失の問題があり、Zoomへの抵抗感を取り除くためには、face to faceのサポートが必要で、クラブ全体のリテラシーを上げる努力が欠かせない。
- ④ 別の切り口として、東京むかでクラブの櫻井メネットによる「使い終わったランドセルをアフガニスタンの子供たちに寄付する運動」の話があり、Zoomを使った全国のワイズの仲間情報をつなぎ、ワイズメンの全国の友人知人への働き掛けを呼び掛ける機会になるとの問題提起もありました。全国のメネットを核とするつながり運動への期待が高まります。(石田記)

プランター栽培講座第2弾スタート！

お待たせしました！プランター栽培講座の第2弾がいよいよ4月27日(火)より全7回でスタートいたします。凶らずもコロナ禍の中で、自宅の庭先やベランダで野菜を栽培するチャンスが生まれました。これを機会に、野菜を「作る喜び」「食する喜び」「分け合う喜び」を体験してみませんか？

本講座では、クラブのメンバーであり、NHKの「趣味の園芸」でお馴染みの恵泉女学園大学教授の藤田智さんが、Zoomを使って、素人の皆さんを優しく楽しくほがらかに導いてくれます。



共通の野菜作りを題材に、Zoom画面を通して、皆とリアルタイムでつながる。生育写真を画面で見比べながら、競い、学ぶ。ワイズの仲間にとっての楽しい憩いの場にできればと思っています。

第2弾は、東新部の全クラブと、日頃親しくさせていただいている近隣クラブを主体に、参加者を募ります。詳細は別途メールにてご案内しますので、そちらをご覧ください。皆様のご応募を、心よりお待ちしております。(石田記)



ぼんぼこ農園便り

3月11日(木)の午後からジャガイモの植え付け作業を行いました。藤田さん、友の会の佐々木さん、峰岸さん、石田の4人が参加しました。本来の予定日は12日(金)でしたが、雨の予報に変わったので1日繰り上げることになりました。この日は、東日本大震災の10周年行事とぶつかり、作業中に町田市の案内放送が流れ、14時46分に作業を中断し参加者全員で黙祷しました。

ジャガイモは、キタアカリ、メークイン、男爵の3種類を植えました。6列にロープを張り、畝を作ってから、約100個の種芋を、木の寸法を使い30cm間隔で植えました。植え付け作業後に牛糞堆肥と化成肥料を撒き、整地して作業はすべて完了しました。



また、玉ねぎの追肥作業も併せて行いました。4人で1時間半、汗だくになりながら、手際良く終了できました。今回は、土壌改良に時間を割き、富栄養化、保水性の改善、土のさらさら度も高くしてきましたので豊作への期待は高まります。5月末頃の収穫を予定しています。早くも、取らぬ狸の皮算用でしょうか。(笑) (石田記)



YMCA ニュース

担当主事 小野 実

いつもYMCAへのご協力に感謝いたします。

◆「東日本大震災10周年礼拝」開催報告

3月6日、オンラインで開催され、会員、賛助会員、職員など43名が出席した。また、これに合わせて3月1日～6日の日程で「東日本大震災10周年 福島パネル展(於：東陽町センター)」が開催された。

◆「第8回日中韓平和フォーラム」開催報告

3月6日、オンラインで開催され、3カ国から計91名、東京YMCAからも2名の職員が参加した。コロナ禍における北東アジアの平和構築に向けて課題が共有された。

◆「第22回libyチャリティーコンサート」開催報告

3月14日、山手センターを会場に行われた。協賛に三菱商事株式会社、後援と撮影協力に株式会社パトンプロダクツ、そして当日の運営には東京たんぼぼクラブを中心としたボランティアに支えられての開催となった。

◆「日本YMCAユースボランティア認証」報告
全国YMCAの16～35歳のユース281人が認証された。東京YMCAからも19名が認証を受け、認証カード、ボランティア手帳、記念に書籍が贈呈された。

◆今後の主な行事日程

- ・「早天祈祷会」 4月1日7:00～(オンライン)
説教：古賀博牧師(東京YMCA評議員会会長、日本基督教団早稲田教会牧師)
- ・「第30回チャリティーゴルフ大会」4月8日
会場：PGM総成ゴルフクラブ
- ・「第18回会員大会」 5月22日

これからの予定

- ・4月2日(金)19:00～ Change! 2022 推進委員会

- ・4月6日(火)19:00～4月例会
- ・4月7日(水)19:00～第5回拡大EMC事業委員会
- ・4月8日(木)18:30～東新部第3回役員会
- ・4月10日(土)18:00～東日本区第3回役員会
- ・4月12日(月)19:00～4月第2例会
- ・4月15日(木)18:30～東京西クラブ例会(藤田さんがゲストスピーチ)
- ・4月17日(土)13:30～東新部第3回評議会・
次期クラブ役員研修会
- ・4月27日(火)19:00～プランター栽培講座第2弾・
1回目
- ・5月4日(火)19:00～5月例会
- ・5月10日(月)19:00～5月第2例会

*いずれも Zoom 会議
